

片平浩孝(分類生態進化)・新倉保・城山光子(人体寄生虫)・塚田英晴・坂西梓里(人獣共通)
・相原尚之・志賀崇徳・平健介(獣医寄生虫)

研究の背景

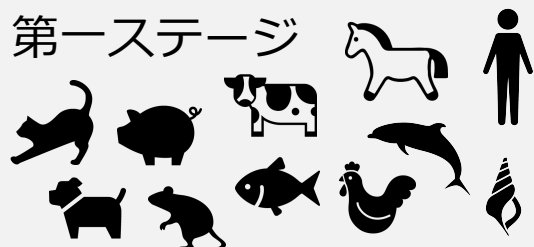
自然界には様々な寄生虫が潜んでいます。意外に思われるかもしれませんが、寄生虫のバイオマスは目に付きやすい動物よりもはるかに大きく、その多様性は地球上の生物種の半数以上を占めるとも言われています。

多くの寄生虫は、普段、目立つことなくひっそりと暮らしているのですが、おそらくみなさんがイメージするように、中には極めて有害な種も存在しています。生き物としての自然史研究から病態・制御の研究にいたるまで、寄生虫学には幅広い視点が必要です。実は麻布大学には寄生虫研究にゆかりのある先生が多く在籍しています。これまで所属の垣根を超えた学びの機会はありませんでしたが、本学における幅広さは国内随一といっても過言ではありません。先生方からオムニバス形式で教えを受けながら、この分野の専門家を目指してみませんか？

ア プ ロ ー チ

「①概論－②人体寄生虫－③家畜・伴侶動物の寄生虫－④人獣共通寄生虫症－⑤生態進化」の順で講義(各先生1～3回)を受け、その後、興味のある分野に分かれて各自研究活動に取り組みます。定期的に進捗報告会を開きながら交流を図り、いつのまにか寄生虫学の沼にはまっていく流れを予定しています。

具体的な研究分野や作業内容は、各先生が取り組んでおられる対象宿主の解剖や寄生虫の飼育、標本・病理組織切片作成、遺伝子検査、疫学的データサイエンスを予定しています。詳細は講義にて！



寄生虫を取り巻く研究課題について
幅広く知ろう、学ぼう！

期待される結果

- ◆ 獣医学分野で登場する寄生虫と、医学分野で登場する寄生虫は別物です。一部オーバーラップする部分もありますが、全てを学ぶ機会はありません。カリキュラムを超えた知識を得ることができます。
- ◆ 先生方のご専門は多岐にわたります。寄生虫学を軸としてどんな関わりがあるのか、広い視野を持つきっかけとなります。
- ◆ 一通りの知識を身につけて、興味のある方向に進める機会はプライスレス。寄生虫学としては全国初の試みのはず。若き才能よ、来たれ。集え。
- ◆ 生き物の知識が増えます。心が寄生されます。

募 集 方 法

活発な議論が成長の秘訣です。オープンマインドかつ積極的に先生方と交流できる学生さんを募集します。たくさんの本や文献を読むことにもなるので、プラスアルファの学びを貪欲に求める方を歓迎いたします。一緒に寄生虫学やろうよ。

第二ステージ



興味のある分野
に分かれて各自
で研究活動に取
り組む

